

藤原清衡の四男清綱が志波郡比爪(現紫波町赤石)に本拠を構え、居住地の地名を名字とし「樋爪氏」を称した。奥六郡に同族を分置しなかった清衡にしては特別の配置である。

—岩手県市町村地域史シリーズ24「紫波町の歴史」河村迪雄著—

発掘調査現地説明会 !

城山の「高水寺城若殿屋敷跡(二の丸)」と伝承されている場所で、配水池工事に伴う発掘調査が行われていますが、この現地説明会が6月25日(火)午後1時30分から開催されます。石積みや柱穴の遺構、陶磁器片などの遺物が出土しているようですが、詳細は当日の説明会に参加し、皆で現地を見て説明を聞いて確かめましょう。

なお、城山の駐車場使用は、現地の誘導案内係員の指示に従ってください。

《《《 7~8月行事予定のお知らせ 》》》

7月17日 (水曜日)	第43回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：大沼耕平 テーマ：「大正5年紫波町地図から見えてくるもの」 発表者：宇部真澄(ペンネーム三島黎子) テーマ：「樋爪太郎俊衡、投降を決断させたものは？」—吾妻鏡の記述の裏にあるもの— ※ 三島さんは三部作「蓮華寺の月」「樋爪館炎上」「秋風陣ヶ岡」や「沙羅双樹の花の色」他の著者です。事前に作品(特に「樋爪館炎上」)は、お読みになることをお勧めします。
7月28日 (日曜日)	古代ハス観賞・五郎沼一周 樋爪館遺跡めぐり —五郎沼周回路整備完了—	発着場所：五郎沼古代蓮の池前 出発時刻：9時、11時、13時 古代蓮の池～五郎沼説明板～山吹川～五郎沼南端～蛇の塚(経塚)跡～夜泣き石～五郎沼薬師神社～遺跡出土箇所説明板～大荘厳寺跡擬定地～箱清水石卒都婆群 所要時間：1時間程度 参加料300円(資料代込み) 雨具・飲み物等持参
8月21日 (水曜日)	第44回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：佐藤雄一 テーマ：「赤石を興した人々」 発表者：石幡 信 テーマ：「信夫佐藤庄司」

—?—?—?—?—?— 樋爪氏 / 樋爪館 —?—?—?—?—?—

Part 14

(12) 古代ハスのロマン

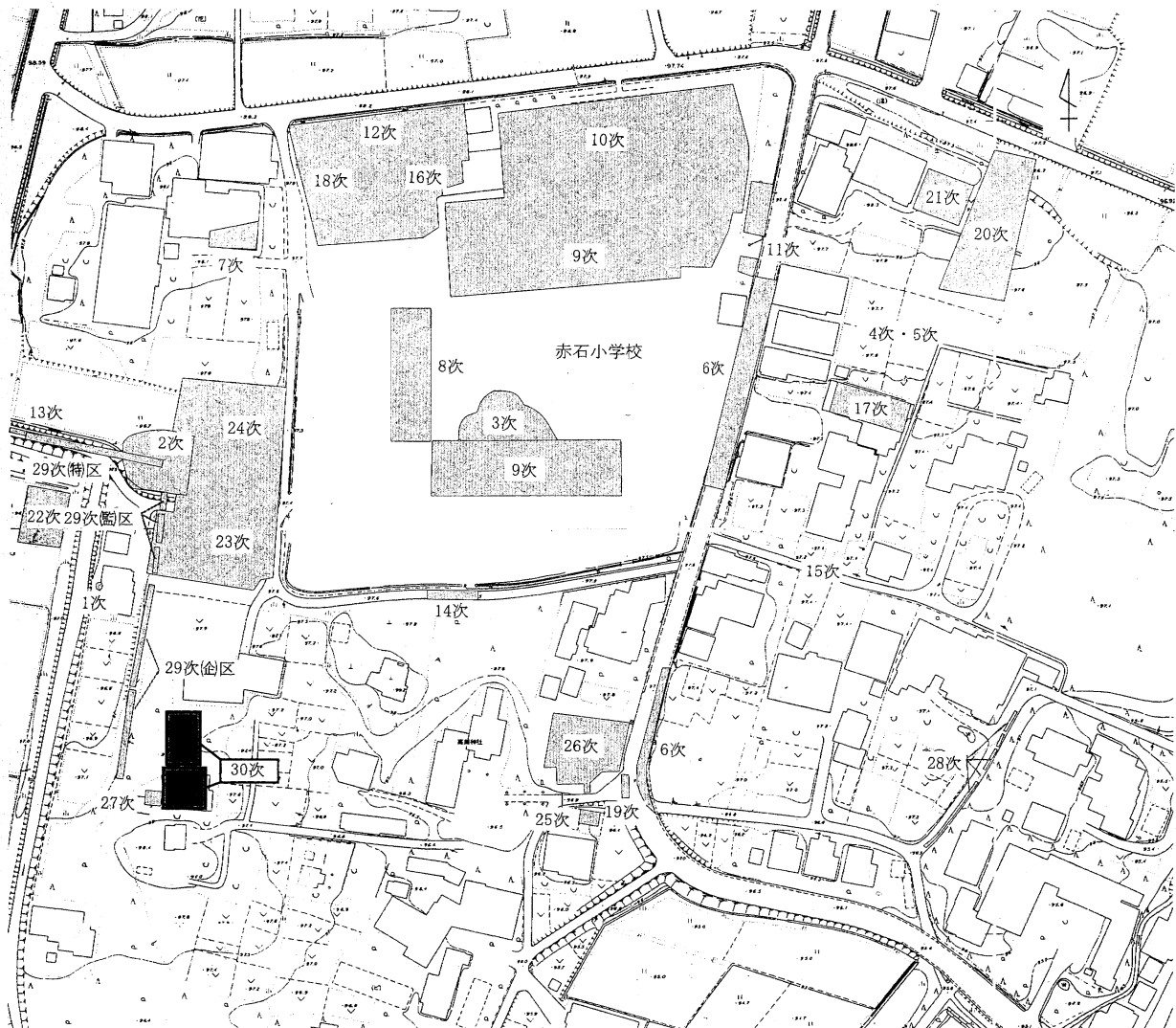
樋爪館が構築された当時、初夏の頃には、辺り一面に自生のハスが鮮やかな花を咲かせていたといわれています。藤原氏が滅び、一族の樋爪氏が去り、焼失した館跡やハスの自生地も田畑となり、姿を消してしまいました。

しかし、いま五郎沼には、見事な古代ハスが復活しています。それは、泰衡の首桶から発見されたハスの種を、中尊寺の方々の尽力と現代技術によって、800年の時を超えて甦らせたからです。間違いなく、その種は樋爪氏の地に咲いたハス…… (次号につづく)

紫波町教育委員会の比爪館跡発掘調査は、昭和40年から昨年までの間に30回行われ、調査報告書が発行されています。これから主な成果を順次「月報ひづめだて」で、お知らせしていく予定ですが、30次に及ぶ発掘調査の報告書は全て「比爪館跡」と表記していますので、このシリーズでは“樋”ではなく“比”を用いることとなります。

今回は最初ですので、比爪館跡発掘調査の全体像をイメージしていただくため、第30次発掘調査報告書掲載の「調査区域図」をご紹介します。

比爪館跡調査区域図



<紫波町教育委員会平成25年3月発行の紫波町埋蔵文化財調査報告書2012 比爪館跡第30次発掘調査報告書 5頁>

◎ 第10回定期講演会が予定どおり開催されます。多数の皆様のご来場をお待ちします。

- ☆ 日時 平成25年6月23日（日曜日）午後2時から ☆ 会場 紫波町赤石公民館
- ☆ 演題 平泉時代の北奥と奥大道 ☆ 講師 弘前大学教育学部教授 斉藤利男氏
- ☆ 参加料 500円（ただし、赤石地区ひづめ館懇話会会員は200円）

☞ 斉藤利男先生は、「平泉—よみがえる中世都市—」「奥州藤原三代—北方の覇者から平泉幕府構想—」等々、多くの著書を執筆されています。当日は平泉時代の北奥、特に私たちのとって関心の深い樋爪館以北の地域に関する詳しいお話があるものと思います。